

# 第9回子規さん俳句書道展目録

松山市立子規記念博物館 1F ロビー

令和元年2月9日(日)～3月14日(土) 午前9時～午後5時

題字：「子規さん俳句書道展」 中1 飯尾彩乃 中1 山本周平

小1 福田 俊太 しきさん

小1 阿部 真季 のぼさん

小4 町田 衣桜奈

ぞろぞろと土手の上行く春の人 明治29年 季語「春」 季節「春」

中1 飯尾 彩乃

絶壁の巖をしぼる清水哉 明治28年 季語「清水」 季節「夏」

京の町にはでな扇を求めけり 明治31年 季語「扇」 季節「春」

稲の穂に温泉の町低し二百軒(共同作品) 明治28年 季語「稲穂」 季節「秋」

中1 立花 匠望

行列の草に隠るる夏野かな 明治29年 季語「夏野」 季節「夏」

中1 山本 周平

若鮎の二手になりて上りけり 明治25年 季語「若鮎」 季節「春」

鳩麦や普通ひし叔父が家(共同作品) 明治28年 季語「柿」 季節「秋」

五六軒雪積む家や枯木立 明治28年 季語「枯木立」 季節「冬」

中3 弓立 美桜

凜として牡丹動かす真昼中 明治29年 季語「牡丹」 季節「夏」

水草の花まだ白し秋の風(共同作品) 明治28年 季語「秋風」 季節「秋」

中3 山本 航平

寝ころんで書読む頃や五六月 明治29年 季語「五六月」 季節「夏」

松山の城を載せたり稲むしろ(共同作品) 明治22年 季語「稲籩」 季節「秋」

大2 畑山 奈都

春の夜のともし火多し奈良の山 明治28年 季語「春夜」 季節「春」

佐伯 一雄

春の月戀する人を照しけり 明治32年 季語「春の月」 季節「春」

渡部 美佐子

駕かきのすき腹に飲む新酒哉 明治31年 季語「新酒」 季節「秋」

高山 佳子

秋風や高いのていれぎ三津の鯛 明治28年 季語「秋風」 季節「秋」

一桶の藍流しけり春の川 明治28年 季語「春の川」 季節「春」

青野 郁恵

草の花少しありけば道後なり 明治28年 季語「草の花」 季節「秋」

松崎 桂子

故郷はいとこの多し桃の花 明治28年 季語「桃の花」 季節「春」

和田 和子

柿の花上塀の上にこぼれけり 明治28年 季語「柿の花」 季節「夏」

多田 和己

松山や秋より高き天主閣 明治24年 季語「秋」 季節「秋」

渡部 淑己

石手寺へまはれば春の日暮れたり 明治28年 季語「春の暮」 季節「春」

会田 詳子

秋の雨荷物ぬらすな風引くな 明治30年 季語「秋雨」 季節「秋」

新 俊明

筆ちびてかすれし冬の日記哉 明治33年 季語「冬」 季節「冬」

主 催 繁企画 (石丸繁子書道塾)

後 援 愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会・愛媛新聞社

愛媛 CATV